



郡中学校通信 No26

学校教育目標 「自ら行動、達成して感動」
校訓 「自主・自律・連帯・創造」

郡中ビレッジ 美・礼・時

チーム郡 思いを力に!

R3. 11. 4発行 文責 校長 松崎大樹

令和元・2・3年度 大村市教育委員会指定・授業改善研究 「大村市立郡中学校研究発表会」を開催しました!

晩秋の爽やかに晴れ渡る一日となった10月28日(木)、大村市教育委員会の先生方や大村市内小中高の先生方、総勢56名をお招きし、2年2組の理科、2年6組の技術、3年3組の英語の3本の授業を公開する中で「大村市立郡中学校研究発表会」を開催しました。

本校では、令和元年度～3年度までの3年間にわたり、研究主題「自ら学びに向かう生徒の育成」を掲げ、今年度から完全実施される新学習指導要領が目指す授業実践に取り組む中で、本校の学校教育目標である「自ら行動 達成して感動」の具現化と共に、全ての生徒たちに次世代の社会の形成者として活躍できる資質・能力を育む授業改善研究に全職員で努めてきました。その研究の取組・成果を多くの先生方へ発表し、ご参加いただいた先生方からの忌憚のないご意見・ご指導をいただく中で、さらに充実した郡中学校の教育を生徒一人一人に届けることを目的として本研究発表会を開催させていただいた次第です。今回の通信では、本校授業改善研究の取組の概要と参加された先生方へ公開しました授業を紹介させていただきます。ご一読いただければ幸いです。

最後になりますが、本研究発表会の開会にあたり生徒代表として挨拶をしてくれた生徒会長 西村南一紀さん、公開授業に協力してくれた2年2組、2年6組、3年3組の生徒のみなさん、発表会を側面からサポートいただいたPTA役員の方々には、この紙面をお借りし、改めて感謝の意を表したいと思います。誠に、ありがとうございました。

その1 郡中の研究概要

生徒の実態

- 授業に集中して取り組めない生徒がいる。
- 家庭学習の時間が全国・県の平均よりも低い。
- 積極的に自分の意見や考えを表現する生徒が少ない。



-研究主題-

自らに学びに向かう生徒の育成～探究的な学びに導く授業と学習課題の在り方～

-研究仮説-

教師が、単元のまとまりを意識した指導計画を練る場面において、生徒が「してみたい」「やってみよう」と思うような学習課題(家庭学習も含む)の提示や支援のあり方について工夫し改善を図ることで、主体的・対話的で深い学び(探究的な学び)に導き、自ら学びに向かう生徒育成が実現されるであろう。

GOAL

学校教育目標



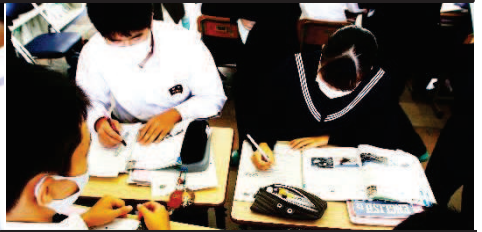
- 「自ら行動 達成して感動」の具現化
- =○生きて働く知識・技能の習得
 - 思考力・判断力・表現力などの育成
 - 学びに向かう力・人間性などの涵養



仮説を実証するための視点

- ①探究的な学びとなるような授業実践(自らの考えをもち表現する力を育成する)
- ②生徒が学習に主体的に向かうような環境の整備や自己表現の場の設定
- ③家庭学習においても主体的に取り組むための工夫と家庭との連携

その2 公開授業について

2年2組の理科 生物の身体づくりと働き	2年6組の技術 エネルギー変換の技術	3年3組の英語 The Great Pacific Garbage Patch
<p>目標：植物と動物の働きの特徴を分類し、共通点と相違点という関係性を見出し、生きるための仕組みには共通点が多いことを表現する。</p>	<p>目標：エネルギー変換に関する技術を利用することで実現される持続可能な社会について考える。</p>	<p>目標：「海のゴミ問題」について知り、その問題に関わる説明文を読み、考えを深める。</p>
<p>視点：植物と動物の共通点や相違点という関係性を見出し表現する活動で、話し合いの視点を表や図を使ってまとめることで、協働活動が活発になり、探究的な学習活動になるだろう。</p>	<p>視点：各自の発電に対する考え方について、根拠を持って他者に説明することができれば、グループでの考えが深まり、将来エネルギー利用について主体的に考えることができるようになるだろう。</p>	<p>視点：SDGsや修学旅行で訪れた「海きらら」など、身近な話題や資料を提示すれば、生徒達はより興味を持って「海のゴミ問題」について考え、説明文の内容理解に向けて主体的に活動できるだろう。</p>
		
<p>植物と動物の「呼吸」と「養分を得る」という働きについて、関連する様々な用語をタブレットを用いて協働で分類し、その用語を用いた説明文を作成しました。また、説明文の内容を発表し合うことで、学びを深め、まとめでは、植物と動物の作りにおいては、異なる点も多いが、生きるための共通の働きがあることを結論づけました。</p>	<p>2018年の年間電力の状況や発電方法別の長所・短所等の発電について調べたことをもとに、根拠を明確にしながら班で協議し、「2030年の各発電エネルギーの比率」について提案し合いました。まとめでは、各発電の短所・長所を踏まえながら、様々な視点からエネルギーミックスを考えることが大切と結論づけました。</p>	<p>日本国土の約4倍もの大きさになる海洋ゴミの多い海域=The Great Pacific Garbage Patch(太平洋ゴミベルト)が、北太平洋の中央に存在している。この事実を学び、SDGsの目標や「海きらら」の環境保全プロジェクトをもとに、英文からキーワードを探し、著者の伝えたい内容を協働しながら英文・日本語でまとめていきました。</p>

令和3年も残り2ヶ月。学習に対する「全学年巻き返しの時！」

目標を設定し、日々の取組に意味を持たせる中で 継続した学習に取り組んでいきましょう！

生徒のみなさんへ

いよいよ令和3年も11月に突入し、今年も残り2ヶ月となりました。そして、3年生にとっては受験（検）する高校へ送付する調査書の最終資料（成績）となる、また、1・2年生生徒にとっても2学期の成績を確定する「2学期期末テスト」まで、残り3週間となりました。さて、全校生徒のみなさんの学習に対する取組は、大丈夫でしょうか？ また、日々の学習に対してあきらめ気分になっている生徒のみなさんはいませんか？ 毎日の授業巡視で、寝ている生徒を起こすこともしばしばあり、そんな生徒達のことをとても心配しています。

確かに日々の学習の中には難しい内容もたくさんあります。しかし、だからといって日々の学習を諦めてしまえば、分からないことが雪だるま式に増え続け、結果として、自分の可能性にも気づくこともなく、さらに進路をせばめ、自分自身を苦しめる結果に陥ってしまうのではないのでしょうか。

やれば必ず、今よりは前へ進むことができ、点数も伸びてきます。また、いきなり、90点や80点を目指さなくてもいいのです。今の点数を2点でも、3点でも上げていくことが大切なことであり、その先には今より成長した自分自身ときっと出会えると信じているのです。実りの秋も終盤戦、全学年巻き返しの時期を迎えています。目標を設定し、日々の取組に意味を持たせる中で継続した学習に取り組んでいきましょう！ 下記に郡中として全生徒で取り組みたい道筋を示しています。しっかりと読んで下さい！



生徒のみなさんは、情報化・AIの台頭、グローバル化の加速、少子化・高齢化の進展等、様々な時代の変化や課題が山積する予測不可能な未来において、多様な人々と協働する中で、自分なりの答えを創造し、持続可能な社会の一員として自立していくのです。

そして、そんな生徒のみなさんが**将来人生の中で一番長く過ごす時間が働いている時間**なのです。

生徒のみなさんが、現在の年金支給開始の年齢65歳に達するまで働いたとすると、中卒で就職した人は50年間、高卒の人は47年間、大学卒の人は43年間働くことになります。

そして、その働いた期間の賃金を**生涯賃金**といいますが、フルタイムの正社員を続け、60歳で退職したとすると、**男性の生涯賃金は、大学卒の場合2億7000万円、高卒の場合2億1000万円、中学校卒の場合2億円**といわれています。
(参照元 厚生労働省)

しかし、現在の日本の社会構造の中では、**正社員の割合は中学校卒で35.4%、高校卒で56.3%、大学卒で80.9%**となっており、全ての人々が正社員になれるとは限らない状況があるのです。

ちなみに、**非正社員（＝フリーター）との生涯賃金は、7400万円と試算されており、正社員との生涯賃金の差はあまりにも大きい**と言われています。
(参照元 厚生労働省)



真剣に考えなければ！

このように生涯賃金一つをとっても、将来の生活設計を立て、社会の中で自立していくことには、認識しなければならぬ重要な現実があるわけで、生徒のみなさん一人一人の夢や希望を実現するためにも、これからの進路というもの是非常に大切になると考えています。

そして、**生徒のみなさんの夢や希望の実現に向けて、一人一人の進路を豊かにし、しっかり支えてくれるのが、日々の学習だ**と思うのです。



だからこそ、今、「全学年巻き返しの時！」なのです。

日々の学習において、自分の能力や頑張りを見失わないためにも、自分の能力に自分で線を引かない！そして、自分の頑張り、結果を人と比べない！ その中で、継続した学習に取り組んでいくのです！

GOALまでの道筋＝栄光の架け橋

1. 現状を認識する。

各種学力検査から決して郡中全体の学力は高い方ではなく、大村市内、長崎県内、全国には、もっと家庭学習の時間も長く、頑張っている生徒がいることをしっかりと認識する。

また、その生徒達が将来自分のライバルになることをイメージする。

2. 2学期期末テストに必死に取り組む

「チーム郡」として全学年で、日々の授業、家庭学習に真剣に取り組む、2学期期末テストの全ての教科における平均点を、2学期中間テストの平均点よりUPさせる。

そのことで、3年生調査書の点数UP、全学年2学期通知表の評定UPを目指す！

3. 12月17日(金) 1・2年生は 大村市学力検査でTOPを目指す！

1・2年生は計画的、継続的な学習に取り組む中で、上記の目標を達成し、3年生に対して「やればできる！」ことを証明し、3年生の受験勉強に対して大きなエールを送る！

4. 3年生高校入試における合格率を上げる！

3年生の学習に対するハートに火をつけ、1月からスタートする私立高校入試、2月2日(水)公立高校前期選抜、3月8(火)・9日(水)公立高校後期選抜における合格率を上げる。

その結果、郡中の学力向上を果たし、GOALとする。

「全学年巻き返しの時！」のための大切な約束

- ①授業に集中する！
絶対に居眠りをしない！
- ②毎日の家庭学習において
2時間以上を目指す！
- ③メディアをコントロールし
SNSやゲームに自分の人生を左右されない！